



完成した新ななかりサイクルセンター＝七尾市吉田町(七尾市提供)

来月から本格稼働 ななかりサイクルCが竣工

七尾市

七尾市が同市吉田町で整備を進めていた新ななかりサイクルセンターの竣工式は28日、同所で開かれ、関係者約30人が循環型社会の形成や地球温暖化防止につながるごみ処理施設の完成を祝った。中能登町から排出されるごみも受け入れ、4月1日から本格稼働する。

新施設は工場棟・管理棟がSRC造・S造4階建て、軽量棟がS造平屋建てで延べ床面積は計4330・74平方メートル。24時間連続運転のストローカ式焼却炉2基を備え、1日当たりの処理能力は70トとなる。可燃ごみや硬質プラスチック類を受け入れられる。環境負荷の軽減や省エネ対策として、余熱をロードヒーティングや冷暖房、給湯に利用する。有害物質を最大限除去する排ガス処理設備などを導入した。

事業方式はDBO(設計・建設・運営)で、設計・施工者は荏原・真柄・戸田組特定建設工事共同企業体。設計・施工監理は中央設計技術研究所が担当。特別目的会社(SPC)「ななおEサ

ービス」が20年間の運営・維持管理を担う。工事費は70億4000万円。